

# 2019 年度事業計画について

## 1 当面の課題と運営方針

- 2019 年度は、平成の代から改元を経て新しい時代を迎え、東京オリンピック・大阪万国博に向けて、世界的に注目が高まり躍進が期待される一方で、不透明な海外情勢など、地政学リスクが我が国経済や企業業績に及ぼす影響が懸念されています。
- 近年における社会福祉法人を取り巻く環境は、少子高齢化の一層の進行に伴い、受入れ施設の役割が極めて重要となってきた状況下において、担い手の「人材不足」がより深刻化し、当法人においても、保育士・介護職員の雇用確保が喫緊の課題となっています。
- 政府は、「一億総活躍社会の実現」に向けて、子育て・介護の環境整備を促進するうえから、保育士・介護職の待遇改善施策を講じているものの、法人施設の経営収支の根幹をなすデイサービス介護報酬の減算改訂や保育所補助金等には、厳しい対応を迫られているものがあります。
- このような課題を全職員が共有し、「健全経営」を確保するよう、創意工夫をかさねて不断の「自助努力」に努め、「地域に根ざした信頼される施設づくり」を「持続的」に進めていかなければなりません。新年度は、全役職員が決意を新たに、「第3期中長期計画」及び「工程表」に則り、各般の事業目標を着実に実現するよう、業務運営に最善の努力を傾注します。

## 2 重要事項

- (1) 地域に根ざした信頼される施設づくりを進め、利用者定員等の確保を図るため、ご家族をはじめ、市町村、地域福祉関係者との綿密な連携のもとに利用者本位の施設運営を推進します。
- (2) 喫緊の課題である保育士・介護職員の採用に向けて、新たに「人材雇用促進等に関する規程」を制定し、全職員挙げて人材確保対策を積極的かつ効果的に推進します。
- (3) 職員のモチベーションを高め、職員資質の向上を図るため、職場研修実施要領に基づき、計画的にOJT、OFF-JT、SDS研修等を実施するとともに、有為な人材を臨時職員から正規職員に登用するキャリアアップ研修を実施します。
- (4) 保育園における園児の健やかな成長を図るため、保護者との連携を密にして「保育の全体計画」に定める保育目標等が効果的に実践できるよう保育士等の職務能力の向上を期するとともに、園開放等による交流の場の提供や、伝統行事・食事などを継承する活動等を展開し、地域の「子育て拠点」としての取り組みを進めます。
- (5) よりよい保育の実現に向けて、牧の林すずの音保育園が公正・中立な第三者評価機関による専門的・客観的な立場での「第三者評価」の受審を目指し、受審体制を構築します。
- (6) 活力ある職場づくりを推進するため、各拠点の身近な課題の解決に向けて、職員自らが潜在能力を発揮し、更なる能力の向上に主体的に取り組む「QC活動」を実施します。
- (7) 児童福祉施設に勤務する職員が連携して保育内容等の改善・向上を図るため、各保育園等の職員が参加する「多職種職員合同研修」を実施します。
- (8) 地域に開かれた施設運営を促進するため、福祉関係養成校、医科大学等からの研修・実習生を受け入れて支援するとともに、おでんせ本宮による独居老人との交流会・デイサービスおでんせの地域出前講座や、盛岡さんさ踊りその他の地域催事への職員・園児等の参加・協力など、地域貢献活動を進めます。
- (9) おでんせ本宮の施設整備（駐車場を含む。）用地に充てるため、隣接土地の取得についての検討を進めます。
- (10) 経常的経費に充てる財政面での措置が抑制傾向にあることに鑑み、法人・施設の運営形態等の抜本的な見直しに関する検討を進めます。
- (11) 施設の建物、付帯設備等の建設改良、維持修繕等については、各保育園に冷房設備を設置するほか、「中長期施設整備計画」に基づき、おでんせ本宮、ケアハウスおでんせ、牧の林すずの音保育園及び前潟保育園の施設の経年劣化等に伴う維持修繕・改修工事等を実施します。
- (12) 長期的に安定した経営を確保するため、節減に努め、後年度に発生する建設改良等に備え、施設整備等の積立を行います。